



病院理念 人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。  
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。  
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院  
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502  
石川県羽咋市の場町松崎24番地  
TEL (0767) 22-1220  
FAX (0767) 22-5598  
<https://www.hakuihp.jp/>

# RSウイルスについて



RSウイルスをご存知でしょうか？昨今、話題となっているコロナウイルスとともにかぜの原因となるウイルスのひとつです。2歳までにほとんどの子どもが感染します。以前は冬の12月から1月あたりに流行するとされてきましたが、この数年は季節に関係なく流行することが特徴です。感染した場合でも、鼻水、咳、2-3日程度の発熱で治癒することがほとんどですが、1歳未満の子どもでは重症化し、気管支炎や肺炎となることがあり注意が必要です。また、3ヶ月未満の赤ちゃんがRSウイルスに感染すると、気管支炎や肺炎による呼吸不全や無呼吸（突然、呼吸が止まってしまう）により、命が危ぶまれることもあります。そのため、赤ちゃんの兄弟の保育園でRSウイルスが流行している場合は自宅での手洗いなどの感染予防が重要となります。また、大人も感染することがあります。特に免疫力の弱まった高齢者が重症化することも知っておかなければなりません。

RSウイルスに感染した後に①呼吸状態がひどくなる、②熱が続くような場合には治療が必要になることが多いため、注意が必要です。呼吸状態がひどくなった時の目安は、いつもより呼吸が早い、首の下や肋骨の間が凹むような呼吸、ミルクが飲めない、ゼーゼーしているなどです。RSウイルスに感染した場合は、1-3日で熱が下がるのがほとんどですが、気管支炎、肺炎、中耳炎、副鼻腔炎などが合併すると4-5日以上にわたり、発熱が続くことがあります。そのため、38-39度以上の高熱が4-5日たっても下がる気配がない時は病院へ再診する必要があります。また、解熱剤が効くようになったり、自然に36-37度台に下がるようになったりした場合は熱が下がるサインですので、安心していいと思われれます。

RSウイルスなどの呼吸器系の感染にかかった後に咳が数週間持続することがよくあります。ほとんどは、かぜにかかった後に気道に炎症が残っている影響ですが、喘息を発症していることもあり、正しい治療が必要になる子どももいます。喘息のお子さんの特徴は、風邪を引いた後に<sup>がいそう</sup>咳嗽が数週間にわたり長引く、息を吐くときにゼーゼーする、アレルギーがある、夜に咳で起きるなどです。特に、息を吐いた時のゼーゼーは重要な症状ですので、携帯で動画を撮影してもらえると、診断に役立ちます。鼻水が黄色くなって、鼻詰まりがひどくなった時は副鼻腔炎などを合併していることもあります。このようなことが子どもではよくみられるので、咳や鼻水が長引くなどの症状がある際には気軽にご相談ください。

小児科医長 清水 陽



# 食中毒予防の3原則

## 食中毒の原因菌を「付けない、増やさない、やっつける」

### 食品の購入

- ・賞味期限をチェック！
- ・肉、魚はそれぞれ分けてビニール袋へ
- ・できれば保冷剤（氷）と一緒に



### 食品の保存

- ・冷蔵庫は **10℃以下** 冷凍庫は **-15℃以下** に維持
- ・食品は詰め込みすぎない（7割程度）
- ・肉、魚は汁がもれないように包んで保存

### 下準備

- ・こまめな手洗い、手袋着用 タオルは清潔なものに交換
- ・肉や魚と生で食べる野菜、果物などは包丁、まな板を使い分ける
- ・器具やふきんは洗って消毒



### 調理

- ・加熱は十分に！  
（めやすは中心部分の温度が **75℃で1分以上**）
- ・調理を途中で中断する場合は冷蔵庫に入れる

### 食事

- ・清潔な器具、食器で盛り付け
- ・作ったら早めに食べる（室温で長時間放置しない）
- ・食事の前に忘れず手洗い



### 余った食品

- ・清潔な器具、容器に小分けして保存
- ・温めなおすときは十分に加熱（めやすは **75℃以上**）
- ・時間が経ちすぎたりちょっとでも怪しいと感じたら思い切って捨てましょう！

栄養科 管理栄養士 林 紘奈

# 新任職員紹介

よろしく  
お願いします

耳鼻咽喉科医 おおうら かずこ  
大浦 一子



血液型・星座：A型 おうし座  
趣味：料理、音楽鑑賞

5月より、赴任しました。  
地域医療に尽力したいと存じ  
ます。よろしくお願い致します。

## 就任のご挨拶

今年度4月1日付けで総看護師長に就任いたしました田島雅世と申します。  
昨年に続き、新型コロナウイルス感染症のニュースばかり報道され、私たちの暮らしもあたりまえだったことができない不自由さを感じる日々です。しかし、明るい未来に向かって地域の皆さんへのワクチン接種が始まっています。羽咋病院でも6月からは接種人数を拡大し、皆さんが安心して生活ができるよう職員一丸となって対応しています。

院内では入院患者さんが治療に専念でき、安全な環境を提供するためトイレ、浴室、洗面所など順次、清潔で安全に利用していただけるよう整備をしました。また、昨年度は入院ベッドのすべてが低床ベッドに更新となりました。患者さんの体調や病態に応じて調節することができ、療養生活の中で安全に配慮しています。

療養環境が整備された中、今後、さらに私たちは、多職種との連携・協働を強化し患者さんのケアにあたります。「感じる心、考える力、表現する力で患者さまの回復を支援します」の看護部理念のもと地域の皆さんから信頼される看護の実践に努力します。

総看護師長 田島 雅世



今年度より副総看護師長をさせていただきます、森本ゆかりです。

私は、大阪の大学病院で集中治療看護に携わり、地元に戻ってきた後は、当院で手術室→透析→病棟勤務を経て、看護師長として透析→手術室で勤務をさせて頂いています。

病院職員を家族にたとえると、田島総看護師長とは、夫婦のような関係を築きたいと考えています。地域に信頼される病院として、自分たちに求められているものは何かを考えあい、常に患者さん最優先で臨みたいと思っています。皆様よろしくお願い致します。

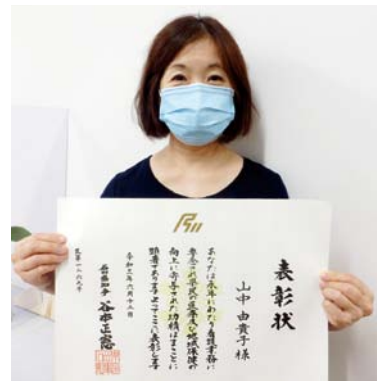
副総看護師長兼中央材料室・手術室看護師長 森本 ゆかり

## 表彰者

石川県知事表彰 医療功労者

医療サービス推進室室長

山中 由貴子



# 新型コロナワクチン接種 始まっています

新型コロナウイルス対策の救世主としてワクチン接種が期待されています。私たちは3月に接種対策チームを立ち上げ、4月は医療従事者優先接種、5月からは65歳以上高齢者接種にて延べ2,500名以上の集団接種に携わってきました。接種にあたり最も心がけてきたことは、接種を受ける皆さんが、「安心・安全」に接種を受けることができる環境を整えることです。もちろん接種後のフォローもその一つとして捉えています。今後は10月の終了を目処に、64歳以下の集団接種に加え、基礎疾患を持つ方々の優先接種もすすめてまいります。

副院長 荒井 謙一



## 行政・病院連絡会 報告

6月18日に、行政・病院連絡会がZOOM開催されました。今回は、コロナワクチン接種の現状と課題について話し合われました。各市町では、概ね7月末までには65歳以上の接種が終了予定となっていること、若年層への接種については、それぞれ準備中となっていることを情報共有しました。

2階病棟／医療サービス推進室 副看護師長

松田 真弓



## 病院機能分化推進委員会・開放病床運営委員会 報告



6月21日、羽咋市健康推進担当課長・地域の開業医の先生方14名と、羽咋病院の医師10名とが集まり、上記委員会を開催しました。今回はZOOMを使用したオンラインと、会場に集まる従来の方法の2通りを採用し、先生方それぞれのスタイルに合わせた開催ができました。コロナ禍でも互いに“顔の見える”関係を維持し、患者さんへのよりよい医療提供のため、連携を深めていきます。

医療サービス推進室社会福祉士

井上 麻有子



# 聖火ランナー

## を務めました！

当院の副総看護師長である森本ゆかり看護師が、石川県の聖火ランナーに選ばれ、6月1日、和倉温泉でトーチキスに臨みました。



# ふるさと自慢

富山県氷見市はぶりで有名ですが、漫画家藤子不二雄A先生の出生地としても有名です。代表作「忍者ハットリくん」を筆頭に先生のキャラクターを町のいたるところで発見できます。

光禅寺は先生の生家で、お寺の境内にキャラクターの石像があります。漁港からキャラクターを探しながら歩けば、良いお散歩コースになります。コロナ禍が落ち着いたら、是非遊びに来てください。

リハビリテーション科副士長  
桶元 孝美



# ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若葦会の皆様
- ♥ 園児の絵 こすもす保育園



# 季節の 写真



梅雨時期に鮮やかな美しい花を咲かせる紫陽花ですが花の色によって花言葉を持っています。

ちなみにピンク色の紫陽花の花言葉は「元気な女性」「強い愛情」だそうです。

撮影・文：主任理学療法士  
大西 公亮